



## 水産・海洋系高校って何だろう？

### ○海なし県の水産専門学科

海なし県の栃木県にある馬頭高校水産科が取り組んでいる鮎の養殖、チョウザメから取るキャビア製造等は県内外で良く知られています。全国に46校ある水産・海洋系高校の中では『唯一の内陸における水産専門学科』として淡水魚の専門学習ができるのが大きな特徴です。それでは、海がある都道府県の水産・海洋系高校ではどんな学習をしているのでしょうか。

海があっても水産・海洋系高校がない府県（大阪、岡山、広島など）がある一方、3つの高校を有する道県（北海道、岩手、千葉など）もあるのです。東京都には、伊豆大島に大島海洋国際高校があります。「水産」「海洋」という名称が付いている高校は分かりやすいのですが、校名だけでは水産・海洋系学科があることが分からない高校もあります。実は、海なし県の群馬県の万場高校には「水産コース」（平成17年設置）があります。淡水魚を扱い、水産の専門科目を学習するのは本校と同じですが、「普通科」の2年生からのコース制なので、本校水産科が『全国唯一』と言われているのです。

### ○水産・海洋系高校での学び

全国の水産・海洋系高校には、海洋科、海洋技術科、栽培漁業科等の名称の学科があり、さらにいくつかのコースに分かれている学校があります。海技士（航海・機関）の資格を取得して甲板員（船長）や機関士を目指したり、水産物の食品製造（缶詰など）を学んだり、栽培漁業に関する知識と技術を習得したり、船舶に必要な情報通信（無線）について学ぶ学科・コース等もあります。また、実習船を保有して2ヶ月に及ぶ長期航海でかつおやマグロ漁を行う学校もあります。このように、水産・海洋系高校での学びは多岐に渡っているのです。

### ○水に親しみ水から学ぶ：馬頭高校水産科

馬頭高校水産科は昭和47(1972)に設置され、50年の歴史を誇っています。鮎やチョウザメの他に、オニテナガエビの種苗生産、淡水二枚貝保全、コクチバスの駆除などたくさんのことに取り組んできました。これからも地域や地元企業、研究機関との連携を図り研究を進めてまいります。



鮎の放流



那珂川をカヌーで下る